

～日本一のキウイフルーツ農家を目指して～  
寺尾 進太郎さん(四国中央市(旧土居町))

四国中央青年農業者連絡協議会会長 1986 年生まれ



☆経営概況☆

キウイフルーツ 130a、梅 150a、柑橘 10a（紅まどんな）を家族労働（本人、妻）中心に、農繁期（キウイフルーツの受粉期等）には雇用労力を入れ、栽培管理を行っています。

☆ここがポイント☆

■農業がやりたい職業に変わった

実家が農家のため小さいころから自然に手伝いをしていました。高校2年生の時、父の農業を助け恩返しがしたいとの思いから、農業大学校への進学を決めました。進学後は、専門的な勉強や様々な経験を積む中で、同年代の仲間との出会いもあり、**農業がやりたい職業**に変わりました。

■品質向上、規模拡大を目標に

キウイフルーツは、祖父の代から栽培しており当初は「 Hayward 」を栽培していましたが、父が「**ゼスプリゴールドキウイ**」の美味しさに心を惹かれ、**ゼスプリ社との契約栽培**を開始しました。その後経営を継承しゴールドキウイを中心に品質向上、規模拡大を目標に頑張っています。栽培管理は、ゼスプリ社が示した栽培マニュアルを順守しながら、生育状況、天候に応じた適期・適切な管理を行うよう努めています。

また新たに、重要病害のキウイフルーツかいよう病に抵抗性のある、新品種「**サンゴールド**」の栽培に取り組んでいます。

また、梅は品質の良い「**南高**」を栽培し、産直市で販売しているほか、JA共販を行っています。梅干しの加工も行い高付加価値化にも取り組んでいます。



たわわに実るキウイ

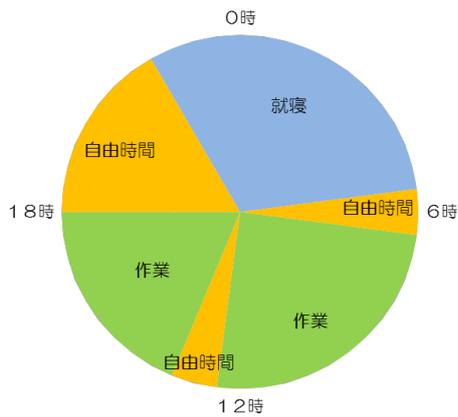


収穫間際の南高梅



南高梅の収穫作業

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

青年農業者組織の活動において、研修会への参加や同年代の青年農業者との情報交換、交流を行っています。また、対面販売を通じた消費者交流、農業体験を通じた食農教育などを行っています。

また、子どもがスポーツ少年団（野球）に入っており、練習を手伝ったり、試合を観戦したりしています。

一方、地域の消防団、青年団に所属するなど地域行事にも積極的に参加しています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】		天候等により作業ができない日が休日				
← 栽培管理・収穫・調整・出荷 →						
【普通期】		不定期で月4～5日が休日				
← 栽培管理 →						



保育園児とサツマイモを収穫



小学生と紅まどんなの袋かけ

☆これからの夢や目指すもの☆

日本一のキウイフルーツ農家

☆メッセージ☆

農業は参入しにくく、就農しても大変な職業ですが、すごくやりがいがあって、やる気と知識があれば面白い職業にすることができます。

農業を志す気持ちがあるのであれば、一歩踏み出して自分の夢に向かって頑張ってください。